



地域社会への責任と行動

ムラタは、「Innovator in Electronics」の企業スローガンのもと、まず価値ある製品を供給することで社会の発展に貢献するとともに、事業活動以外でも地域社会に貢献していきたいと考えています。

社会貢献の考え方

さまざまな分野のイノベーターを応援

ムラタは、エレクトロニクス分野でのイノベーターを目指してこれまで歩んできたことを、事業活動に関わる全てのステークホルダーに感謝し、その気持ちを社会への貢献という形で還元していきたいと考えています。

「そこにムラタがあることがその地域の喜びであり誇りであるように」という方針のもと、各拠点で、青少年の教育・文化・スポーツ振興、学術研究、環境保全への諸活動、地域社会づくり、などのさまざまな分野で活躍する「イノベーターたち」を応援しています。

学術支援活動

エレクトロニクス分野を中心に学術研究を助成

学術振興を通じて、科学技術の発展に尽くしたいと考え、ムラタでは1985年2月に「村田学術振興財団」を設立。同財団は、エレクトロニクス分野を中心とした科学技術の向上・発展や、国際化にともなう人文・社会科学分野の諸問題の解決に寄与する研究への助成金を交付し、研究者の国際交流も促しています。

2007年度の助成件数は、研究助成79件、研究会助成20件、海外派遣援助26件であり、計9,936万円を助成しました。

教育・文化・スポーツ振興の支援

地域の文化振興イベントを開催

村田製作所では、本社所在地である京都を中心に、地域の文化・スポーツ振興を支援しています。

また、2007年度は、昨年に引き続き「第2回 ムラタ イノベーターカップ小学生囲碁9路盤大会」を開催。小学生と保護者約230名が参加し、約40名の社内スタッフがボランティアで運営

しました。2007年度の新しい取り組みとして、「京都高等学校総合文化祭優秀校発表会～第1回京総文クライマックス～」に特別協賛しました。新たに「村田製作所賞」を創設し、各分野でトップクラスの活躍をみせる高校生のクラブ活動を応援しています。このほか、1992年から協賛している全国小学生バドミントン大会や、びわ湖大学駅伝などのスポーツも引き続き応援していきます。

従業員から

潔い世界で自分を賭ける喜びを子どもたちに



商品開発統括部
商品開発1部2課
田中 伸拓

私は小学生から囲碁を始め、2005年に全日本アマ名人・本因坊になりました。囲碁を20年も続けているのは、全力を出した時の、英雄のような気分が好きだからです。そんな英雄体験を多くの小学生にしてみたいと、2年前から「ムラタ イノベーターカップ 小学生囲碁9路盤大会」を開催しています。勝ち負けは自分次第。不正も誤審もない潔い世界で、道を切り拓き、伸びていく喜びを子どもたちに伝えたいと考えています。

自社開発のロボットを活用した「理科授業」も

近年「理科離れ」が議論される中、村田製作所では2006年度から、子どもたちに科学の面白さを伝える「理科授業」を始めました。授業では、子どもたちに大人気のロボット「ムラタセイサク君®」が自転車をこぐ様子を間近で見ると科学の「不思議」や「驚き」を体感してもらいながら、ムラタの先端技術と電子部品が、いかに社会で役立っているのかをわかりやすく紹介しています。

2007年度は、本社や事業所、関係会社の近隣地域において65回(うち本社41回)の理科授業を実施しました。

ムラタセイサク君®に
使われている
電子部品などを解説



従業員の発案で始まった「ムラタ イノベーターカップ 小学生囲碁9路盤大会」。サブイベントとして理科の面白さを伝える展示もしています

百人一首を
次世代に継承する
「小倉百人一首
プロジェクト」
に石碑を寄贈
(京都、嵐山・
嵯峨野地区)



八日市事業所の
しゃくなげ鑑賞会



一般の方を招いた
本社見学会



環境保全への貢献

子どもたちへの環境学習で

村田製作所は、子どもたちの環境保全の意識を育てるため、2005年度から環境学習をスタートさせました。2007年度は、本社と事業所で計56校3,550名の子どもたちが授業を受けました。

当社グループの環境担当従業員が「地球温暖化」「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」などのテーマについて、現在の課題やムラタの取り組みを紹介。班別対抗クイズ形式などを取り入れていることもあって、毎回大いに盛り上がります。子どもたちからは「今日習ったことをお母さんにも教えてあげたい」といった感想が多く寄せられ、環境の大切さを感じてもらえているようです。

各地域の文化・自然と調和する緑化活動

ムラタでは、緑を深く愛した創業者のもと、今から20年以上も前に全10箇条からなる『緑化基本方針』を制定。地域に「文化的雰囲気」を生み出し、それを維持発展させることが企業の社会的責任であるという方針のもと、事業所ごとに各地域の文化や自然と調和する緑化に取り組んでいます。花の開花季節には地域住民の方をお招きし「鑑賞会」なども開催しています。

2007年度には、企業などによって創出された良好な緑空間とそこでの活動を評価する「社会・環境貢献緑地評価システム(SEGES)※」の審査を、金沢村田製作所、岡山村田製作所をはじめとする6事業所で新たに受審しました。

※ 本社、横浜事業所、八日市事業所、野洲事業所は取得済

富山村田製作所で
新しい庭園を
地域の方に公開



金沢村田製作所では
敷地内の果樹園で
収穫したりんごを
福祉施設に提供



野洲の緑地による小学生教育



岡山村田製作所で
ビオトープを小学生の授業に提供



近隣住民とのコミュニケーション

工場見学会の開催と、地域のイベントへの出展

2007年度は、国内の事業所で、近隣の小学生や住民の方を対象とした工場見学を開催しました。

また、本社をはじめ、出雲村田製作所、福井村田製作所、鯖江村田製作所などの各事業所で、合計6回、地域の環境イベントに出展し、ムラタの環境への積極的な取り組みを紹介するとともに、来場者に環境保全の重要性を訴えかけました。今後も、このような活動を拡大・継続していきます。

寄付活動

国内外へのさまざまな寄付

ムラタは「そこにムラタがあることが、地域のよこびであるように」という方針のもと、国内外の団体に寄付を行っています。

2007年度は、タイでHIV/AIDS予防活動を展開するNPO法人「ピープルズ・ホープ・ジャパン」の活動拠点設立資金を、中国では現地日本人学校に対し運営資金を、能登半島沖地震や新潟県中越沖地震の被災者に対して義援金を、合計1,100万円寄付しました。

従業員から

地域社会のサービスに関与して育まれる精神



Assistant General Manager
Murata Electronics
Singapore (Pte.) Ltd.
Alex Lim

私たちは年一回、希望者を募って老人養護施設のフランス・ヴィラ・ホームを訪れています。従業員とその家族はホームの老人と一緒に歌を歌ったり、ランチの手伝いをしたり、寄付金を集めたりして、施設運営をサポートしています。

2000年から始まった私たちのこの活動は、従業員に「ケアとシェア」の精神を育むと同時に、地域社会のサービスに関わる絶好の機会だと感じています。

理科授業を受けた
子どもたちからの感想文

